

試合日程・結果

男子 1 回戦福岡第一 vs 県立高岡商業

試合データ

開催場所	東京体育館 C	コミッショナー	
試合区分	男子 1 回戦	主審	笠島 喜与都
開催期日	2014 年 12 月 23 日	副審	嶋崎 貴
開始時間／終了時間	17:15 / 18:38		

ゲームレポート

福岡第一	79	21	1st	14	61	県立高岡商業
		22	2nd	12		
		24	3rd	11		
		12	4th	24		

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。硬さがみられる両チーム、なかなか思うように得点ができない。福岡第一#5井出の連続得点で流れをつかむ。19-7となったところで高岡商業1回目のタイムアウト。高岡商業#18杉森の連続得点、終盤の#11湯浅のミドルシュートで21-14と7点差まで縮めて第1ピリオド終了。

第2ピリオド、福岡第一#4濱田のジャンプシュートで点差を広げるが、高岡商業#18の3Pで食らいついていく。しかし、徐々に福岡第一の激しいディフェンスが機能し始めて、相手のミスを誘い得点につなげていく。高岡商業は福岡第一のディフェンスを崩すことができない。残り2:38、39-23となったところで高岡商業2回目のタイムアウトを取り立て直しを図る。その後、得点を入れあい43-26で福岡第一17点リードで前半終了。

第3ピリオド、福岡第一#4のジャンプシュート、高岡商業は速攻での連続得点で一進一退の攻防が続く。福岡第一#5の3P、速攻を決め、点差をさらに広げる。残り5:24これ以上点差と広げたくない高岡商業は後半1回目のタイムアウト。しかし流れは変わらず福岡第一のペースで試合が進む。67-37で福岡第一のリードは変わらず第3ピリオド終了。

第4ピリオド、高岡商業#15堀田の連続3P、スティールで流れを引き寄せ。残り2:04、77-59と18点差まで縮める。結局、79-61で地力で勝る福岡第一が勝利し、2回戦に駒を進めた。敗れはしたが最後まで諦めずに戦った高岡商業に拍手を送りたい。

試合日程・結果

女子 1 回戦龍谷富山 vs 山村学園

開催場所	東京体育館 C	コミッショナー	
試合区分	女子 1 回戦	主審	大久保 好純
開催期日	2014 年 12 月 23 日	副審	藤原 大希
開始時間／終了時間	09:01 / 10:36		

ゲームレポート

龍谷富山	36	10	1st	16	79	山村学園
		2	2nd	22		
		12	3rd	21		
		12	4th	20		

第1ピリオド 龍谷富山2-3ゾーン、山村学園ハーフマンツーマンでスタート。龍谷富山#6林のミドルシュートで先制。山村学園も#5野口の1対1で得点。その後お互いにターンオーバーが続き、4分経過しても2-2のまま。残り3分山村学園の激しいディフェンスからの速攻で山村学園#9山崎がレイアップシュートを決めたところで龍谷富山1回目のタイムアウト。その後交代して入った龍谷富山#15村中がジャンプシュート、ドライブ、ジャンプシュートを3連続で決め、何とか流れを引き戻す。しかし、山村学園#14坂本が終了間際ジャンプシュートを決め16-10山村リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド 両チームディフェンスは変わらず。開始2分山村学園#5に変えてセンターの#13佐坂を投入。ゾーンに対して高さを生かしたプレイで徐々に点差を引き離す。龍谷富山も3Pで応戦するがなかなかシュートがきまらない。さらに激しいディフェンスからターンオーバーを誘う。#13のリバウンドシュートが決まり31-10と21点差となったところで龍谷富山が2回目のタイムアウト。残り2分を切り龍谷富山#5高山のドライブでようやく得点するが、すかさず山村#13のシュートで取り返す。38-12山村リードで前半終了。

第3ピリオド 開始から龍谷富山が積極的に攻め、#4米田のドライブで最初の得点。山村学園のカバーリングの早いディフェンスに中をこじ開けることができない。龍谷富山#4がドライブでファウルを誘いフリースロで得点。オールコートマンツーマンでボールを奪いに行くが、山村学園は落ち着いてボールを運び、#9が強いプレイで速攻のレイアップをねじ込む。開始5分、龍谷富山も#4のジャンプシュート、#11西谷の3Pで何とか食らいつく。その後も山村学園は#16永野のジャンプシュートなどで着実に得点を重ね59-24で第3ピリオド終了。

第4ピリオドに入っても流れは変わらず、山村学園#11渡邊のジャンプシュート、ターンオーバーから#10丸山がレイアップを決める。龍谷富山も#4のボールコントロールから何とか自分たちの攻撃を組み立てるが、山村学園の早い対応に得点ができない。開始5分ターンオーバーから龍谷富山の#5がようやくレイアップを決める。山村学園も#6矢倉、#7萬のミドルシュートで応戦。山村学園のボールマンプレッシャーが強く5秒オーバータイムを取られる。残り3分龍谷富山タイムアウト後、ドリブルスクリーンから#15がジャンプシュートを決める。

メンバーが変わっても終始激しいディフェンスを続けた山村学園が79-36で勝利した。